

令和4年6月17日
慶應義塾体育会競走部

鹿又 理 新監督 就任のお知らせ

この度、2017年から競走部の指揮を執って参りました鈴木岳生監督が退任し、鹿又理が監督に就任することとなりましたので、ご報告させていただきます。新体制の下、学生、スタッフ、OBOGが一丸となって精進して参りますので、引続きのご支援とご声援を、よろしくお願い申し上げます。

鹿又 理 監督 就任ご挨拶

この度、慶應義塾体育会競走部の監督に就任しました鹿又理です。監督就任を機に、これまで私が競走部から、そして陸上競技から頂いた沢山の学びに、恩返しをさせて頂ければ幸甚です。

人はつい「雲の上」を意識して、あれは無理だから、あの人は違うからと、自分にリミットを付けがちです。高校時代には全国大会の決勝に残れなかった私が慶應義塾で学び、初めて日本選手権の決勝を走った時、「雲の上の世界」など幻想に過ぎないことを知りました。しかしその世界の住人は決して才能という言葉だけでは片付けられない努力と苦勞をしていることも同時に知り、「雲の上」とはその努力をしているか、していないかの違いであることを、競走部の全ての部員に気付いて欲しいと思います。この「気付き」こそが、陸上競技において、社会において、グローバルな舞台で勝ち抜く術であるからです。

陸上競技は個人の素質と努力が表面化しやすいスポーツですが、多くの仲間やスタッフ、そしてライバルがいるお陰でスタートラインに立てることを忘れてはいけません。競走部の部員は、多くの人との出会いを通じて、これから生きる上で重要な「努力の大切さ」「結果の厳しさ」「仲間の尊さ」を学ぶことになるでしょう。

進んで鍛錬の道を選ぶ者が集い、選手、スタッフ、指導者、OBOGなど全ての関係者が半学半教の精神で無限の可能性を信じて学び、巣立っていく、これからの慶應義塾体育会競走部に、どうぞご期待下さい。



鹿又 理 (かのまた おさむ) 略歴

1990年暁星高等学校卒業

1994年慶應義塾大学法学部政治学科卒業 在学中は体育会競走部主将を務め、日本インカレ 4x100mR 優勝、同 200m 準優勝、日本選手権 200m 準優勝、国体 100m 準優勝などの戦績を残す

1994年三菱商事株式会社入社、2004年 bp(シンガポール)入社

2009年から慶應義塾体育会競走部短距離強化委員を務め、この間に廣瀬英行(400m)、山縣亮太(100m)、松本岳大(400mH)、小池祐貴(200m)、永田駿斗(100m)がインカレで優勝し、国際大会でも日本代表として活躍

2022年慶應義塾体育会競走部監督就任